学校関係者評価結果を受けた改善についての報告書

小郡市立小郡小学校

Ⅰ　未来へ向かう「心」の育成について

評　価　結　果	改善の具体的方策
課題は不登校対策。学校だけの取組だけでなく外部との連携の必要性がある。	校内不登校対策委員会の定例化と地域や行政・専門機関とさらに連携する。

Ⅱ　生きて働く「知」の育成について

評　価　結　果	改善の具体的方策
課題は低位層の底上げ。そのための、環境整備・人員配置の必要性。	少人数指導や TT 指導で、個に応じた支援を充実させる。「小郡方式の授業改善」を徹底していく。

Ⅲ　健康で逞しい「体」の育成について

評　価　結　果	改善の具体的方策
コロナ禍の中、感染防止対策に取り組みながら、取組ができている。	「体力向上プラン」を共通理解し、1校1取組を確実に実践していく。

Ⅳ　地域とともにある学校づくりについて

評　価　結　果	改善の具体的方策
GT活用やまち探検の取組などが実践され、高い評価になっているのはいい。	「ふるさとカリキュラム」の見直しを行いながら、取組の充実・改善をはかる。

Ⅴ　ＩＣＴ活用力の育成について

評　価　結　果	改善の具体的方策
課題ではあるが、少しずつ活用は進んできている。	教材等の交流をする。職員研修を充実する。さらに情報モラルの内容について、道徳科や学級活動に位置づけて取り組む。

Ⅵ　個に応じた学びの充実について

評　価　結　果	改善の具体的方策
特別支援学級在籍児童や外国籍児童への取組が丁寧にされている。	子どもたちのニーズや興味関心を把握し、継続した取組を実践していく。

Ⅶ　教職員の資質向上の推進について

評　価　結　果	改善の具体的方策
「隠れたカリキュラム」を意識して取組を進めているのはいいこと。	一般研修を行うなど、職員研修を充実する。学年で「隠れたカリキュラム」の内容から振り返りを行う。

Ⅷ　小中９年間を見通した指導体制の充実について

評　価　結　果	改善の具体的方策
コロナ禍の中、できる範囲での交流ができている。	学力面だけでなく、生活面や家庭の状況も含めた交流ができないか検討する。

Ⅸ　働き方改革の推進について

評　価　結　果	改善の具体的方策
遅くまで働いているのがわかり、課題があるのが見て取れる。	外部人材の更なる活用と教材研究の時間の確保を行う。

Ⅹ　人権・同和教育の啓発推進について

評　価　結　果	改善の具体的方策
子どもたちへの取組の充実はなされているが、保護者啓発が課題。	職員研修を充実する。人権を大切にする授業づくりの3つの工夫を実践する。